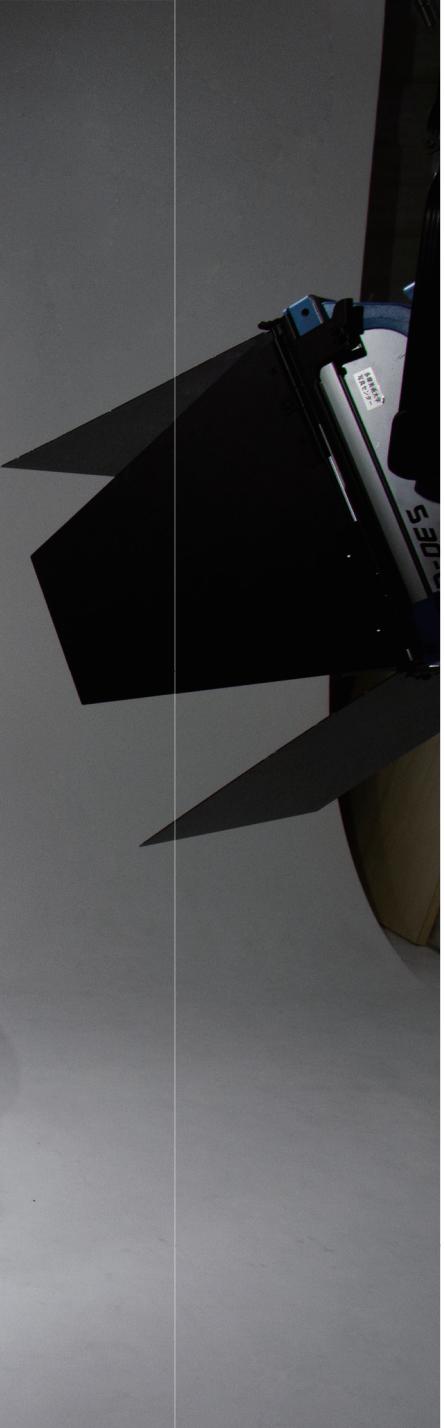


ジェンダーをポジティブに意識するための体験の研究

An Exploration of Interactive Experience to Cultivate a Positive Perception of Gender



着る

動く

演じる



ACTION

ジェンダーを意識する時、第三者の視点から物事を捉えることで、見えてくる事や寄り添える気持ちがあるのでないかと考えました。そこで、ドレスを着ることによって、女性性に対してどういう意識が生まれるのかを研究しました。

In my work, I used the human mind's ability to take a step back from personal convictions and relate to a person's worldview other than yourself—my method zeros in on a third-party perspective for thinking about gender. A point of view removed by one degree can provide a unique insight and new emotions towards the same issue. In this project, I explore what new awareness may be awakened towards femininity when one puts on a dress.

ドレスを着ることで、振る舞いや考え方が変化します。背筋が伸びたり、その場でまわったり。自分の中にある「ドレスを着るひと」を行動によって表現することが、その人の視点に立つことに繋がる。この気づきによって、女性への共感が生みだされることがわかりました。ドレスはハニカム構造を用いることで、動きに遊びを持たせました。いつも他の服では得ることのできない体験の楽しさから共感の起点になることを狙います。